

『日本統計学会公式認定 統計検定3級対応 データの分析』正誤表（第2刷）

該当箇所	誤	正
viii（目次） 下から2行目	§ 8.1 個々の観測値の散らばりの程度	§ 8.1 観測値の標準化
26p 2行目	割合	減少数
74p 5行目	観測値	観測値 x_i
85p 1行目	§ 8.1 個々の観測値の散らばりの程度	§ 8.1 観測値の標準化
95p 図9.3の説明	弱い相関関係	無相関
175p 下から1行目	195 ページ	209 ページ
199p 問6.2 4行目	およそ65点	およそ64点
199p 問6.2 5行目	四分位範囲は35点	四分位範囲は34点
199p 問6.3 2行目	同じ値の人を考えると正しくない。	中央値が8回だから半数以上が8回以上であり、不適。
209p 問5 3行目	負の	-1に近い
210p 問12	60点以上の生徒の割合は同じ。	もとの点数を X とするとき、調整後の得点が60点以上となるのは a の方法で $X \geq 55$ 、 b の方法で $X > 54.5$ であり、 X は整数だから60点以上の生徒はどちらの方法でも同じ。